



しばた議会だより



年の初めに心をこめて

書道教室(農村環境改善センター)

- 特集 災害復旧工事が本格化 2・3
- 12月定例議会 第5回臨時議会 4・5
- 議案に対する賛否・議会の出欠状況 5
- 平成23年議会懇談会 6・7
- 一般質問 8～14
- 常任委員会レポート 15
- あなたの一言(渡部ミヨ子さん) 16

事が本格化

平成23年12月定例会は、12月12日から15日までの会期で開催されました。

今回の補正予算では、東日本大震災に関する震災住宅改修事業補助金の増額や槻木中学校改築工事内容変更による減額の補正がありました。これらによる追加補正額は881万1千円、補正後の予算総額は139億205万3千円となり、審議の結果原案どおり可決しました。

東日本大震災関連では、国の災害査定が終了し、公共施設の被害総額が確定しました。

全工事が終了するには24年度末までかかる見込みですが、23年9月下旬より順次発注しており、いよいよ本格的な災害復旧工事が始まりました。

東日本大震災による公共施設などの被害概要 (11/30現在)

区分	被害額	被害概要
高齢・障害福祉施設関係被害	500万円	2施設
児童福祉施設関係被害	490万円	7施設
農林業施設関係被害	1億3,330万円	56カ所
土木施設関係被害	6億7,500万円	269カ所
水道施設関係被害	2,860万円	176カ所
下水道施設関係被害	10億8,310万円	延長12,369m マンホール472カ所
学校施設関係被害	5,780万円	53件
生涯学習施設関係被害	5,810万円	9施設
地区集会所被害	450万円	8カ所
役場庁舎被害	630万円	給水設備など
合計	20億5,660万円	

※工事がすべて完了するのは平成24年度末の見込み



いよいよ本格的に工事開始(町道船迫2号線)

主な工事箇所

工事箇所	件数	工事箇所	件数
屋根	760	建具	8
内壁	162	便所	9
外壁	141	玄関	6
給排水設備	78	台所	4
基礎	66	床	4
浴室	57	天井	2

**震災住宅改修事業
最終で約1千300件の
申請**

10月末で申請が終了した本町独自の「震災住宅改修事業補助金」は、予想を上回る申請となり、12月定例会で、さらに4千410万円を追加補正しました。

昨年12月27日現在の実申請件数は1千297件、補助対象金額の合計では約9億4千万円となりました。主な工事箇所は表のとおりで、約6割が屋根の工事となっています。

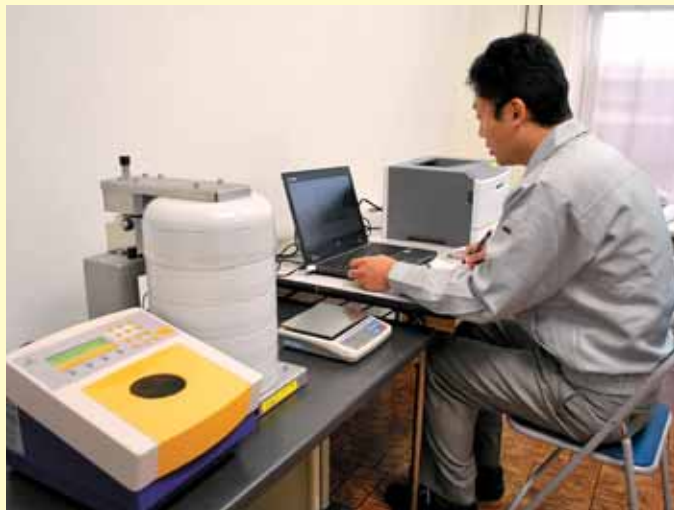
災害復旧工



「縦ノ木は残った展望デッキ」から蔵王を望む

放射能への不安解消のため、学校給食や保育所の給食を試験的に測定したところ、現在

1月より町民環境課に専従職員を配置して食材などの検査実施体制を整え、3月までは学校給食などの食材測定を中心とし、4月以降は自家用農産物などの食材を対象に、無料で検査を実施する予定となっています。測定場所は役場1階町民相談室です。



1回の測定には30分程度かかります

食品の放射能汚染への不安解消を図るため、放射性物質を測定する検査機器を消費者庁より1台貸与されました。いよいよ柴田町でも食品の放射能測定が行われます。

10ベクレル以下の数値となっています。

なお、空間放射線量の測定は引き続き町内施設38カ所で行われており、随時町のホームページやお知らせ版で情報提供さ

れています。町では、今後も空間放射線測定や定期的な食材の放射性物質の測定を行い、町民に正しい情報を的確に伝えていく方針です。

食品の放射能測定を開始
役場内に測定室設置へ

職員給与を減額

町長・副町長
教育長・議員
も減額

人事院勧告に基づき平均で0.23%

給与・報酬改正による減額の内容

職員	平均月例給 0.23%減給
町長	給料月額 5,000円減額 減額後 904,000円
副町長	給料月額 4,000円減額 減額後 700,000円
教育長	給料月額 3,000円減額 減額後 593,000円
議長	報酬月額 1,000円減額 減額後 387,000円
副議長	報酬月額 1,000円減額 減額後 329,000円
議員	報酬月額 1,000円減額 減額後 313,000円

質疑 国家公務員の人事院勧告が履行されていない。柴田町で給与を削減するのはいかなるものか。

答弁 公務員の身分、生活の安定が、職務を忠実にを行うことにつながる。その保障となっている人事院勧告がなくなると、基盤が揺らぎかねない。民間給与と均衡を保つ人事院勧告制度の尊重は必要と考える。

国では人事院勧告を履行していないが

平成23年9月の人事院勧告に基づく町職員の給与条例、町長等の給与条例の改正案が提案され、原案のとおり可決しました。

また、議員発議で議員報酬の減額も提案され、可決しました。

反対討論
広沢 真議員

人事院勧告は民間準拠が唯一の根拠になっているが、民間給与の調査結果が昨年より増額になっているのに、格差が広がっているというの根拠に乏しい。地域経済の循環のため職員給与は引き下げるべきではない。

町内業者で対応できるのか

質疑 追加工事も含め、復旧工事がかかり多く、町内業者で対応できるか。

答弁 建築の場合はかなり厳しくなっている。できるだけ町内業者に発注し、工事をしてもらう。

船岡体育館は十分な調査が必要

質疑 社会教育施設災害復旧費に、使用中止の船岡体育館が入っていないのか。

答弁 船岡体育館は、壁の内部が被災しており、十分な調査が必要で間に合わなかった。

平成23年度
12月補正予算

土木災害復旧工事費などに
5億円の予算を計上

四日市場地内用水路分水門設置工事増額の内容は

質疑 四日市場地内用水路分水門設置の工事請負費増額の内容は。

答弁 阿武隈川に流す水路の河床を守るための工事と、それに伴う仮締め切りや切り直し関係、地盤改良が増えた。水利権が名取土地改良区にあり、今回の津波被害で除塩作業を計画していることから通水が必要となり、仮締め切りや水がえなどが生じるため増額となった。

一般会計補正予算の主なもの

槻木、西船迫保育所大規模改修工事	511万円
震災住宅改修事業補助	4,410万円
槻木四日市場地内用水路分水門設置工事	900万円
町道上名生3号線道路改良工事	1,500万円
公共下水道事業特別会計繰出金	1億2,433万円
土木施設災害復旧工事	3億590万円
社会教育施設災害復旧事業	3,223万円

人事案件



○監査委員の選任に同意(再任)

中山 政喜氏

(船岡字八入)



平成 25 年 2 月完成予定の槻木中学校
(完成イメージ図)

**第5回
臨時議会**
10月19日開催

台風15号被害復旧などで
2億1千万円の増額補正

9月21日に発生した台風15号で被害を受けた道路60カ所、河川16カ所などの土木施設に1億5千万円。林道、ため池などの農業施設の復旧に4千730万円など、災害復旧を中心に2億1千237万円を増額する補正予算を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算の主なもの	
財政財産管理費(修繕料)	457万円
道路維持費(重機借上料)	150万円
農林水産施設災害復旧費	4,730万円
土木施設災害復旧費	1億5,900万円

槻木中学校校舎解体工事で業者と契約

槻木中学校校舎改築工事での国への交付金の要望が採択され、第1期工事として旧校舎の解体工事の契約を承認しました。

本会議出欠状況・議案等審議結果

●本会議出欠状況

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

区分	主な内容	月日	出席者数(人)	出欠状況																
				平岡奈緒美	佐々木裕子	佐々木光洋	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広 沢 貴	有賀 光子	水戸 義裕	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	星 吉郎	加藤 克明	大沼 惇義	白内恵美子	我妻 弘国
第5回臨時会	本会議	契約・補正予算	10.19	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4回定例会	本会議	町政報告・一般質問	12.12	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.13	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問・人事案件・条例	12.14	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		補正予算・条例・契約	12.15	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●議案等審議結果

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。
※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

区分	件名	議決月日	賛成者数(人)	賛成人	議決結果	表決状況															
						平岡奈緒美	佐々木裕子	佐々木光洋	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広 沢 貴	有賀 光子	水戸 義裕	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	星 吉郎	加藤 克明	大沼 惇義	白内恵美子
第4回定例会	平成 22 年度槻木中学校校舎改築工事(1期工事)(繰越明許)請負契約について	10.19	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度柴田町一般会計補正予算	10.19	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	監査委員の選任について	12.14	15	15	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	柴田町土地開発基金条例を廃止する条例	12.14	15	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	柴田町長寿社会対策基金条例を廃止する条例	12.14	15	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	柴田町剣崎地区橋りょう整備基金条例を廃止する条例	12.14	15	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	柴田町 21 世紀の田園文化創造基金条例の一部を改正する条例	12.14	15	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	柴田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	12.14	15	11	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	柴田町長等の給与及び旅費支給条例及び柴田町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	12.14	15	13	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定について(柴田町地域活動支援センターしらさぎ及び柴田町地域活動支援センターもみのき)	12.14	15	15	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	
	平成 23 年度柴田町一般会計補正予算	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度柴田町介護保険特別会計補正予算	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度柴田町水道事業会計補正予算	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度槻木中学校校舎改築工事(2期工事)(建築工事)(債務負担行為)請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度槻木中学校校舎改築工事(2期工事)(機械設備工事)(債務負担行為)請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成 23 年度槻木中学校校舎改築工事(2期工事)(電気設備工事)(債務負担行為)請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	23 都災第 2801 号下水道災害復旧工事請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	23 都災第 2805 号下水道災害復旧工事請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	23 都災第 2806 号下水道災害復旧工事請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23 都災第 2802 号下水道災害復旧工事請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
23 都災第 2804 号下水道災害復旧工事請負契約について	12.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

平成23年

議会懇談会を開催

5年目の懇談会は、町民の皆様を対象とした「一般懇談会」のほか、町内団体を対象とした「団体懇談会」を昨年に引き続き開催しました。
貴重なご意見・ご要望を議会活動や町政に生かしていきます。

一般懇談会

6会場で有意義な懇談

10月29日、小学校区ごとに午後3部3会場・夜間の部3会場で開催しました。

今回は、3月11日の「東日本大震災」体験から、懇談会のテーマを「大震災に学ぶ 災害時の心がまえ」として意見交換を行うとともに、町政や議会へのご意見・ご要望をいただきました。

懇談会では、町長及び議長に送付し、回答を含めた最終的なまとめ、開催会場施設への配布・閲覧や、ホームページなどへの掲載を行うこととしていきます。
ご意見・ご要望の一部を紹介いたします。

格差のない安心できる避難所を

質問 町指定避難所や自主的避難所等の設備を整え、格差がなく安心できる避難所をつくってほしい。

回答 町は、防災機材の充実から発電機・投光機セットや給水タンク（300リットル）、石油ストーブなどを配備。町が開設する避難所を使用する場合は格差が生じることはないと考えている。

情報伝達にアマチュア無線を

質問 役場広報車のスピードが速くて声が聞き取りにくく、無線機も感度が悪く連絡に苦労した。アマチュア無線で情報

が入るように防災計画に組み込めないか。

回答 情報網の整備として、各行政地区に防災無線機を配備し、またメール配信サービスを開始した。さらに、災害FMやタクシー無線機の運用などを検討している。アマチュア無線については、今後検討していく。

自主防災組織は機能したか

質問 防災訓練は役に立ったが、自主防災組織は機能しなかった。

回答 今回、自主防災組織によっては対応に温度差があったが、22カ所で集会所に自主避難所を設置、要援護者支援として39カ所に対応いただいた。

団体懇談会

柴田町観光物産協会

11月8日、午後2時30分から太陽の村で、柴田町観光物産協会との懇談会を開催しました。

懇談に入り活発な意見交換が行われました。

参加者数は協会関係者（「結友」を含む）12人、懇談内容の一部を紹介します。

議会活動報告に続き、観光物産協会の現状について説明があり、その後



団体懇談会(太陽の村)

館山を示す案内板を

質問 館山の全体像を示す案内板が必要では。

回答 城址公園付近の、たばこ組合三角看板を活用できないか検討中。

写真コンテストの実施を

質問 柴田町の風景写真などのコンテストを行うってはどうか。

賞品には物産館の品々を。 **回答** 桜まつりではやっているが、全体のコンテストはないので行いたい。

PRのためにカレンダーを

質問 タウンセールスはアピールが必要。観光物産協会でカレンダーを印刷して売ってはどうか。

回答 大きなものは経費がかかるが、小さなもので産直カレンダーを作成。



白熱した議会懇談会

食料の備蓄が必要と考えるが

質問 災害時の食料の備蓄が必要と考えるが、現状はどうなっているのか。
回答 災害直後の食料・飲料水3日分は、個人で備蓄していただきたい。その後支援物資が町へ届いた場合に各種防災組織へ配給する。町での備蓄は困難な状況である。

ヘルパー資格者の協力を

質問 地元に住んでいるヘルパーの資格を持って

いる人たちの協力を。

回答 今回の教訓から、活用は大変有効な手段であり、今後は、ぜひ自主防災組織でヘルパーや看護師などの有資格者に参加応援いただければと考えている。

デマンドタクシー運行を早急に

質問 デマンドタクシーの運行は早急に実現を。
回答 24年度運用開始を目指している。地域公共交通活性化協議会で、具体的な運行計画等を協議していく。

その他の質問・意見・要望等	
項目	質問・意見・要望等の件数
町政に関する事	40件
議会に関する事	18件

震災に関する質問・意見・要望等			
項目	質問・意見・要望等の件数	項目	質問・意見・要望等の件数
避難所に関する事	6件	被災者への支援に関する事	2件
情報の伝達に関する事	6件	放射能対策に関する事	3件
自主防災組織の運営に関する事	2件	災害時要援護者名簿に関する事	2件
物資・食料に関する事	13件	町等の体制整備に関する事	5件
被災インフラ等の復旧に関する事	9件	その他	5件
	計		53件

宿泊プランの見直しを

質問 太陽の村の宿泊プランをなくし、ランチや宴会、家族での夕食に力を入れたらどうか。
回答 もう少し皆さんの提案も聞いてみたい。

サウナの活用は

質問 サウナはどうなっているか。もつと活用を。
回答 サウナは湿式で、ボイラーに負担がかかり、修理費も高いため修繕していない。日帰り入浴の利用が少なく設備投資に足踏みしている。

観光物産交流館は 行きたくなるような 店づくりを

質問 地元の人たちが行きたくなるような店づくりが大事である。入口正面スペースで、展示や商品の売買ができないか。
回答 展示は無料で使えるが利用が少ない。今後、サークルへの呼びかけや作品展などを考えたい。販売は可能だが、利用基準があり売上の20%を

物産協会へ支払うことになる。

太陽の村へ パークゴルフ場を

質問 太陽の村へのパークゴルフ場設置の要望があるが。
回答 高齢者が利用するための足が決まらなかつた。太陽の村への設置は当初計画で認められたが、国の予算縮小でできない。

継続的なイベントを 工夫しては

質問 結友を運営する上でパフォーマンス的なのが必要ではないか。

年間を通して継続的にイベントを考え工夫することが大切ではないか。

回答 企画面に取り組みため店長を雇用し、イベント・仕組みなども考えていく。

メディア利用を

質問 ミヤギテレビ「OH! バンデス」を、柴田町も利用できないか。
回答 「OH! バンデス」は有効と思う。年間イベントが計画できればアプローチは可能。



柴田町をPR OH! バンデス出演(H23.10.14)

一般質問



加藤克明 議員

Q 不二トツコン跡地 取得の考えは

A 大変魅力のある土地である



不二トツコン跡地

問 不二トツコン跡地の取得について、最近町長は各会合等で前向きな発言をしている。この発言に期待するものである。今後の本町の計画を考えたとき、町民体育館にかわる中央体育館（防災貯蔵施設、中央避難所を兼ねる）、大型児童センター、図書館、文化会館などの体育、文化ゾーンとして用地取得は急務であると思いつの点について伺う。

答 合の利用計画は。周辺の交通アクセスの利便性、土地面積等の条件からしても、今後のまちづくりを見据えた対応を踏まえると、公的機関の建設候補地としては、大変魅力のある土地と認識している。コンパクトシティ構想の実現に向けて一体的な形成を図る上から、「スポーツ・文化ゾーン」の整備可能性調査事業を24年度事業として実施する。

問 整備基本構想の中で具体的なスポーツ、文化等の施設整備の形が出た後に、国や県の補助金メニューを比較しながら捻出する。

答 会社と交渉したか。

問 構想策定が前提であり、現在のところ土地管理会社との直接交渉は行っていない。

答 取得の時期は。構想、基本計画策定後、中長期的な財政状況を精査勘案し進める。



舟山 彰 議員

Q 大震災対応の検証と その活用は 進んでいるのか

A さまざまな場で 町民に説明している



道路の復旧を早急に（復旧工事が進む町道船迫14号線）

9月議会で「東日本大震災に係る町災害対策本部関係及び地域防災組織の対応検証」が配布された。

問 配布後、さらにどのくらい検証を進めているのか。また、その検証を生かしてどのような対応がとられているのか。

答 地区懇談会を初め、さまざまな場を通して写真を多く用いて説明し、参加者との意見交換を行っている。町の反省点としては、今後災害が発

生した場合に備えて防災機器等の配備を充実すること、情報パニックに対応すること、ライフラインを担っている企業との連携を深めること、行政と住民との役割分担を明確にすることである。

問 避難所の船岡体育館は停電時の暖房器不足や照明の確保がでず、その避難状況対策本部に連絡することができなかったとの反省点があげられているが、今後いか

答 避難所は今後6小学校区ごとに優先して指定し、その後、災害の状況に応じて他の体育館等を順次開設するので、船岡体育館のような事態はなくなる。

問 自主防災組織に期待をかけ過ぎるとの声もあるが。

答 自主防災組織に対しては、役場でやるべきこと、自主防災組織のやるべきことを明確化していくよう話し合いを進める。



平間奈緒美 議員

Q 今後の防災教育への取り組みは

A 防災対応能力を育成し、児童生徒の生きる力を総合的にはぐくんでいく



的をめがけてチビッコ消防隊(西住児童館)

問 釜石市では平成16年から児童生徒を中心とした津波防災教育に取り組むことで、家庭や地域社会の防災意識の向上につながった。今後の防災計画、防災教育に反映させるべきではないか。

答 現在行われている各小中学校での防災教育の取り組みは、みやぎ防災教育基本指針を踏まえ、各小中学校で防災教育に取り組んできた。今後は、避難訓練の事前事後の指導にお

ける自然災害の恐ろしさについての学習などを繰り返して指導する。各教科などで関連する内容を学習する際に防災対応能力を育成し、児童生徒の生きる力を総合的にはぐくんでいく。

問 ライフラインが不通状態での避難訓練を年一回でも行うべきでは。

答 今後の防災訓練に加えていくよう考えていく。引き渡しの際、保護者がすぐに迎えに行けない児童に対する対応は、

答 保護者の方が帰宅困難になることも考え、各学校で検討し、新防災計画を策定している。

問 防災インストラクターを育成しては。

答 小中学校は、今後の大規模災害時の避難所として地域の重要な拠点となることが想定されることから、教員を対象に研修会を開催し、防災教育推進のリーダーを育てていく。



佐久間光洋 議員

Q 放射能観測、次の展開は

A これまでどおり実施していくが測定地点を増やす



きれいなふるさとを守りたい

福島原発の放射能漏れ事故発生から9カ月になるが、この間の観測から何がわかったのか。今後の見通しを伺う。

問 定点観測をやめるか、頻度を下げても、大丈夫ではないか。

答 空間放射線量の測定調査は、定点観測施設2カ所、学校教育施設13カ所を含む41カ所で行っている。劇的な測定数値の変化は見られず、当初から比べると少しずつではあるが放射線量は減少し

ている。頻度は、データの継続性もあるので、これまでどおり実施する。

問 地形や水流を考慮した地点での観測を加えるべきではないか。

答 4カ所増やし、今後実施する。

問 増やした4地点はどこか。

答 上川名構造改善センター、富沢集会所、入間田上の組集会所、海老穴のコミュニティ消防センターである。

問 なぜやぶや山林は入っていないのか。

答 通報があった場合には、調査する。

問 測定器の貸し出しはしないのか。

答 正しく測ることが大切なので、貸し出しではなく職員による出前の測定を行っている。

問 里山のハイキングコースは測っているか。

答 町民環境課と連携して測定したい。



水戸義裕 議員

Q コミュニティ主体のまちづくりが必要では

A 十分に話し合い、連携して進めていく



地域のコミュニティがまちづくりの要(地域計画づくり説明会)

震災で学んだことは、協力し支え合えるコミュニティを培い、課題がそこでおおよそ完結できるまちづくりを目指すことである。

問 団塊の世代が75歳以上になり社会保障費が急増する二〇二五年問題を、どう認識しているのか。

答 二〇二五年には高齢化が一層進み人口減少が予測され、65歳以上が全人口の3人に1人で高齢化率も29・3%となり、地域活力の低下、医療費・

介護保険サービスの増加が懸念される。高齢者に対する保健福祉サービスのあり方など、住民主体のまちづくりが重点課題と位置づけられると認識している。

問 まちづくり基本条例には、住民主体によるまちづくりをしていくと表明している。住民主体で行政区単位の地域計画の策定も必要であると考え

る。

地域計画づくりが始まったようだが、その状況は。

答 地域で安心して過ごせるまちづくりとして、42行政区で地域の実情・特徴に即した地域計画の策定に取り組んでいる。職員が向いて数行政区で説明を行っており、24年度中には全域に説明していきたい。だれがつかうのか、何が変わるのかなど地域により温度差や地域課題が異なっているが、計画の必要性を理解していただき十分に話し合い、連携して進めていく。

問 図書館サービスの一つに、インターネット環境で県内の公立図書館の蔵書を図書館外で検索できるサービスがある。個人が本を借りようとしたときに、借りたい本が図書館にあるかどうかを図書館まで足を運ばなくても調べることが出来る仕組みである。家庭や職場などのインターネット接続のパソコンや携帯電話から、どこでもいつでも調べることができ、県の図書館や他

市町の公立図書館の蔵書も検索できる。

答 この情報化時代に図書館に行かないと本のあるなしが分からないというのでは、利用価値も半減し、興味も湧かないということにならないか。

今は県内のほとんどの図書館でこのサービスを提供しているが、柴田町図書館は提供していないので本町でも早急に実施するよう提案する。

問 町の図書館の蔵書検索方法は館内で検索端末

を操作して検索している。今後は新しい情報技術に対応するため、現在使用中の図書館管理システムをインターネットと接続し、家庭などからも蔵書検索ができるようにする。

問 貸出し予約をネット上からできないか。

答 ネット予約は考えていないが、ホームページから用紙を印刷してファックスで送付する形を考えている。

Q インターネットで町図書館の本の検索を



大坂三男 議員

A 検索を可能にする



画面で本を簡単検索(柴田町図書館)



白内恵美子 議員

Q 児童施設の高圧洗浄と表土の除去を

A 町全体の児童施設の中で検討し決めたい



本日の放射線量はどれくらい？

問 私たちは放射能汚染との長期戦を強いられており、子どもをいかに守っていくかが、町としての最大の課題だ。空間線量の高い幼児施設や公園の除染をすべきでは。

答 11月に環境省が除染に関する説明会を開催した。柴田町は汚染重点地域指定の要件である毎時0・23マイクロシーベルト以上を満たしていない。

問 町の測定で0・23以上が何力所もあるのでは。航空機モニタリング

では1mの高さが基準であり、0・23以上はない。

問 大河原町は汚染重点地域の申請をしている。線量は柴田と同じでは。

答 柴田町と線量の差はないが申請をしている。

問 船岡保育所や第一幼稚園は常に0・25を超えている。0・23以上の施設は町独自で除染すべきでは。

答 年間1マイクロシーベルトを超えれば当然やらなければならぬ。

問 船迫児童館の雨樋か

ら2・03という値が出ている。屋根を除染しなければ雨が降るたび高い値が出る。児童施設すべてを高圧洗浄すべきでは。

答 セシウムは30年経たないと減らない。移動すれば移動した所が高くなり、解決にはならない。

問 子どもが安心して遊べる環境にすべきだ。園庭の表土を上げば、線量は確実に下がる。まず1力所で実験すべきでは。

答 町全体の児童施設の中で検討し決めたい。

問 史跡公園としての活用となれば、観光やハイキング、縄文古墳史跡の見学等の人々が利用することになり、トイレや水道、駐車場の整備等が必要では。

答 駐車場は、委託業者がてん圧するとともに、地域の方々の協力で砂利を丁寧な手作業で敷きつけていただいた。

トイレは、利用状況や管理のあり方、だれが管理するのかなどの問題もあるので、あり方を踏ま

Q 西船迫6号公園及びその周辺整備など今後の計画は



佐々木守 議員

A 住民との協働による里山整備や環境学習の場の模範としたい



きれいに整備された協働の模範(西船迫6号公園)

えた検討が必要である。水道は、今後設置に向けて努力していく。

問 整備完了後の管理体制はどのようになるのか。

答 今回の6号公園周辺の整備は、地域住民の強い要望と「協働と参加」により成功した事例であり、今後とも協働のまちづくりの模範として、地域の方々に維持管理していただきたい。

問 今後の維持管理費用は。

答 管理費用は地域と当

初から話し合っており、地域の要望を踏まえて、歴史を活用した環境教育や里山のハイキングなどができるような場として整備した。

今後の整備と維持管理は、町と地元で覚書などを交わしながら、事業を行っていききたい。



安部俊三 議員

Q スポーツ都市宣言の町として一層の伸展をどう考えるか

A スポーツのある暮らしが当たり前となるよう普及を図る



スポーツで健康づくり、まちづくり

問 スポーツ都市宣言をどのように認識し、伸展を図っていくのか。
答 他の町と比べれば、スポーツが盛んな町と認識している。スポーツを取り巻く変化を見据え、スポーツのある暮らしが当たり前となるよう普及に努める。その一助となるよう、来年の夏、仙台大を会場にNHK全国ラジオ体操実施の段取りを進めている。

問 看板は庁舎入口と柴田球場に表示してあるが、施設数も多く経費のこともあるので課題としたい。
答 「柴田町生涯スポーツ振興計画」見直し策定の進捗状況は。
問 現在、前期、中期の検証を行っている。学校やスポーツ団体などの意見をいただき、スポーツ振興審議会、教育委員会に諮り、24年3月末を目標に策定を進める。

問 震災で新たな被害も発生したため、復旧は難しいと判断しており、解体する方向で考えている。
答 後の方向性は定まったか。
問 柴田町民体育館の跡地利用をどう考えているのか。
答 スポーツ・文化ゾーンの整備可能性調査事業を来年度新規事業で行う中で検討したい。並行して、総合体育館基本構想をつくっていききたい。



森 淑子 議員

Q 家庭内の問題に専門家の配置を

A 専門の相談員の配置を検討



家庭内問題に専門家配置を検討

問 本町では児童虐待、ドメスティック・バイオレンス、離婚などの問題に関する相談は一般行政職の職員が当たっているが、相談内容は多様化かつ増加している。専門知識を持つ相談員を配置してはどうか。
答 児童福祉法の改正により、平成17年から児童・家庭相談に応じることが市町村の義務として明確に規定された。担当職員、保健師、保育士など相談業務にかかわる職員

は専門家から助言と指導を受けているが、必ずしも体系的で一環的な体制整備ができていない。言えない。
問 今後は、それぞれの担当職員の連携を図るとともに、専門の相談員の配置を検討する。人選が大事になる。
答 既に児童家庭相談員を配置している自治体では臨時職員で対応しているところが多いが、本町ではどうするのか。
問 今後の検討になるが、

嘱託職員の形になると考える。
問 児童虐待に関しては、平成15年度には相談件数約2万5千件だったものが平成20年度には約4万1千件と増加している。柴田町への相談件数はどうか。
答 平成22年度に新規で受付したものは18件22人となっている。継続しているものを合わせると、平成22年度末で28件42人ととらえている。



広沢 真 議員

Q 第5期介護保険事業計画で介護はどう変わるのか

A 新たに日常生活支援総合事業が加わる



今日も一日おつかれさま

問 先の国会で介護保険法が改定され介護保険制度が変更された。また、平成24年度は第5期介護保険事業計画策定の年にあたる。介護保険がどのように変わるのか。

答 新しく加わる介護予防・日常生活支援総合事業についてどうとらえているか。

答 市町村の判断により、要支援に認定された人と介護が必要となるおそれのある人を対象に生活支援サービスを行い、切れ

目のないサービスで、要介護認定されない高齢者にもサービスが提供できるようにになると考える。

問 総合事業のサービスは給付上限が全体の3割に決められている。サービス低下につながるのでは。

答 要支援対象者がすべて総合事業に移行すると上限を超える懸念がある。

問 特養ホーム入所待機者の現状は。

答 自宅にいる方103名、病院10名、老人保健施設

58名、グループホームなどが21名、合計192名の入所待ちの人たちがいる。

問 保険料はどうなるか。

答 新しい制度変更などでデータがそろわず保険料算定が遅れている。全国での推計では24割から35割の値上げが見込まれている。柴田町でも同程度の割合で値上げが必要になるのではないかと考えている。



佐々木裕子 議員

Q 開発に復興特区法の活用を

A 活用するための計画は立てていく



きれいに整備された町道四日市場1号線

問 町道四日市場1号線の今後の整備の考えは。

答 踏切までは25年度完を目標とし、以後は未定。

問 槻木は近隣市町への直結路線が多く、有効利用のため幹線路整備を。

答 地理的条件は優位性はあるが、地盤が悪く、今の経済状況から難しい。

問 地盤整備で宅地造成や企業誘致など、新たな開発につながるのでは。

答 槻木は県道の西側に準工業用途指定地があり、東側は農業振興用地で開

発は難しい。今ある工場適地に来てもらうことが最良。

問 12月に復興特区法が成立したが、利用する考えはあるか。

答 国の復興交付金を活用するための計画は、ぜひ立てていきたい。

問 要望・請願及び陳情書は、願いを込めた町民の声。町の受けとめ方は。

答 国民が持つ最大の権利で、反映すべきもの。

問 陳情等が採択後、長年未整備となった理由は。

答 財源の確保と臨時交付金を活用するための整備計画を持つ必要があった。

問 町道四日市場12号線の整備は行われるのか。

答 25年度以降に整備を計画する。

問 今後の下水道整備計画は。

答 船岡上大原、新大原地区等の整備を進めている。

問 原町地区の下水道が通っていない部分は。

答 引き続き整備する。



有賀光子 議員

Q 段ボールベッドの活用を

A 災害協定を結び対応する



災害時に有効な段ボールベッド

問 避難所で長い間床の上に寝ていると、床から舞い上がる粉じんやほこりを吸い込みぜんそくになる人や、足の静脈に血栓ができるエコノミークラス症候群になる人も増えると言われている。また、足腰の弱った高齢者は筋力が低下して寝たきりになりかねない。

答 避難所での生活の大半は、床にシートや簡易畳などを敷いての生活を強いられるようになり、段ボールベッドは大変有効だと思う。今後、大きな災害に遭った場合の長期にわたる避難所生活に備え、段ボールベッドの導入を検討していきたい。

問 石巻市で避難所に段ボールベッドを導入した結果、せきがとまったり高齢者の自立度が改善するなどの効果があらわれて、安眠できるようになったと聞いている。柴田町でも早急に検討を考えているか。

答 今回の震災では、ベッドや仕切りなどを活用して避難所の生活が大分改善されたという話を聞いている。柴田町では保管スペースのこともあり、災害協定を結び対応していきたい。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

加藤克明 議員

- 問** 農村集落活性化交付金を交付する考えはないか。
- 答** 来年度の農地・水・環境保全事業に取り組み、用排水路、遊休地の除草に2台の除草機械を購入し、農家に貸し出す。

平間奈緒美 議員

- 問** 自転車関連事故は大きな社会問題となっている。自転車専用レーンの設置をすべきでは。
- 答** 町内の道路幅員等を考慮した場合、自転車専用レーンの幅員を確保することは困難。

佐久間光洋 議員

- 問** 地域の水路の維持管理が高齢化で難しくなっている。有償ボランティアで対応しては。
- 答** 行政区長、生産組合連合会長、土地改良区と協議し、管理のあり方を構築したい。

水戸義裕 議員

- 問** 災害への備えは時期を選ばずだが、避難所運営を初め地域防災計画を見直しはあるのか。
- 答** 早急に防災対策の充実や機材の配備と防災マップを見直す。改正の中心は避難所の運営方法となる。

大坂三男 議員

- 問** 雇用創出事業が終了するが、学習支援や子育て支援事業等の町民サービスが後退しないか。
- 答** 校務支援員配置は別事業で継続。子育て支援事業は外部委託や民間団体育成の方向で検討。

白内恵美子 議員

- 問** 各小中学校において、町図書館司書によるブックトークの導入を。
- 答** 図書館司書と連携を図り、図書館事業としてのブックトーク実施を検討していく。

佐々木 守 議員

- 問** 町道本船迫12号線(旧奥州街道)の工事予定は。
- 答** のり面崩落土が概本用水路をふさいでおり、用水時期までに完成させる必要がある。
- 問** 少子化に伴う新しい幼児保育・教育のあり方を町として検討すべきではないか。
- 答** 「子ども・子育て新システム」の動向を注視し、こども園(仮称)への移行を検討していく。

森 淑子 議員

- 問** 未就園児を持つ親子が気軽に交流し情報交換ができる場所である「子育て広場」の拡充を。
- 答** 参加したお母さん方から継続の要望が出されているので、内容を精査して拡充について検討。

有賀光子 議員

- 問** 早期発見、早期治療の取り組みとして、大腸がん検診無料クーポン券の配布を行ってはどうか。
- 答** 大腸がん検診無料クーポン券や診察手帳を配布する事業を24年度から実施する。

常任委員会レポート

各常任委員会は
年4回各課の仕事を
調査しています。

総務

■ 平成23年10月20日・21日
■ 調査内容

- ・ 大河原衛生センター視察
- ・ 仙南最終処分場視察
- ・ 仙南リサイクルセンター視察
- ・ デジ難視聴対策組合の状況と難視聴地域の解消策
- ・ 防災・災害対応品(積水樹脂株式会社視察)

容器包装プラスチックの分別の徹底を

《町民環境課》

本年4月より、「容器包装プラスチック」と「その他のプラスチック」に分けた分別収集が仙南2市7町で一斉に始まり、住民の分別する意識は確実に定着してきていると思われる。しかし、実際に搬入された「容器包装プラスチック」の約半数近くが、リサイクルできていない状況(9月末現在)であることから、排出にあつての注意点や対象となるプラスチック類の例示等を、ホームページや出前講座などさまざまな媒体、機会を通じ、なお一層の広報に努めること。

あわせて、来年の7月に延期となった家庭ごみの有料化についても、早めの再周知に心がけること。

文教厚生

■ 調査日 平成23年10月17日・18日
■ 調査内容

- ・ 幼児型児童館の管理運営状況
- ・ 第一幼稚園の管理運営状況
- ・ しばたの郷土館の管理及び利用状況
- ・ 柴田町図書館の管理及び利用状況

地域の特性を考慮した子育て支援を

《子ども家庭課》

町内の幼児保育型児童館は、平成25年度末廃止の方針を決定している。現在国で検討している「子ども・子育て新システム」の動向を注視しながらも、柴田町の地域の特性を考慮した26年度以降の移行体系を決定すること。

また、決定した際には関係者への丁寧な説明を心がけ、移行段階において混乱を招かないように万全を期すること。

《生涯学習課》

しばたの郷土館、柴田町図書館では、おののがさまざまな事業を展開しているが、両施設を複合的な施設ととらえた事業も展開し、利用者拡大を図ること。

なお、図書館に、インターネットを通じて家庭のパソコンや携帯電話からも図書の検索ができるシステムの導入、構築を検討し、利用者のさらなる利便性向上に努めること。

産業建設

■ 調査日 平成23年10月13日・14日
■ 調査内容

- ・ 町営住宅の管理運営状況
- ・ 北船岡町営住宅の2号棟建設工事の進捗状況
- ・ 水道事業料金徴収等管理業務の状況

入居者のニーズに対応した町営住宅の建設を

《都市建設課》

今後、町営住宅の建設計画を策定するにあたっては、高層住宅のほかにも、低所得者や高齢者でも入居しやすい低層住宅の建設など、入居者層に配慮した建設も視野に入れて計画すること。

《上下水道課》

水道事業料金徴収等管理業務委託については、財政効率化の側面のみを重視するのではなく、災害時の対応など住民サービスに重きを置いて、業務委託のあり方を再検討すること。

あなたの一言



わたなべ
渡部ミヨ子 さん
(船岡西2丁目在住)

未来へ向けて

●柴田町に住んで感じたことは

東京の大田区から23年前に引越してきました。最初に感じたのは道で出会った人がみんなあいさつをしてくれることです。それと学生が多いので活気あると感じました。

家族を亡くして沈んでいたとき、ゲートボールをしていた見ず知らずの人が一緒にやりませんが「声をかけてくれて、ゲートボールをやることにならずいふんと助けられました。あったかい町です。」

●柴田町で好きなところは

太陽の村から見下ろして海まで臨むことのできる町の

景色が好きです。館山から白石川の両岸の桜並木を見るのも好きです。

●町に望むことは

船岡も中心部から外れると夜、路地が暗いところが多いです。夜も安全に歩けるようになるべくつほこつほす。

●議会、議員に望むことは

議会だよりを読むと柴田町の議員さんはがんばっているなと思います。

これからも町民の声に耳を傾けて議会や町に届けてほしいです。

今度はぜひ議会の傍聴にも行ってみたいと思います。

◆編集後記◆

今年最初の議会だよりをお届けいたします。

昨年は東日本大震災や台風の被害で大変な年でしたが、今年も前向きに一步一步進んでいきたいものです。

広報編集を担当して3年目になりました。今までも増して、読んでいた紙面づくりに頑張つてまいります。

昇龍の如く、

議会広報常任委員 高橋 たい子



ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第1回定例会は

3月5日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

3月5日(月)・6日(火)・7日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ
<http://www.town.shibata.miyagi.jp>